

科 目	マナー実践	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。 本授業は表現学科の学修成果（4）に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。		
学修成果の 評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	オリエンテーション（授業の流れと達成目標） 第1章 必要とされる資質（秘書の心構え）	予習：教科書を読む（30分） 復習：社会人に必要な自覚と心構えを考える（30分）	
2 .	第1章 必要とされる資質（秘書に必要な能力）	予習：教科書を読む（30分） 復習：秘書に必要な能力をまとめる（30分）	
3 .	第2章 職務知識	予習：教科書を読む（30分） 復習：秘書の職務範囲をまとめる（30分）	
4 .	第3章 一般知識	予習：教科書を読む（30分） 復習：関連用語を覚える（30分）	
5 .	第3章 一般知識	予習：教科書を読む（30分） 復習：経済・時事用語を覚える（30分）	
6 .	第4章 マナー・接遇（人間関係と話し方・聞き方）	予習：教科書を読む（30分） 復習：上手な聞き方・話し方のポイントをまとめる（30分）	
7 .	第4章 マナー・接遇（話し方と聞き方の応用）	予習：教科書を読む（30分） 復習：報告・連絡のしかたを練習する（30分）	
8 .	第4章 マナー・接遇（敬語と接遇用語）	予習：教科書を読む（30分） 復習：敬語の使い方をまとめる（30分）	
9 .	第4章 マナー・接遇（電話応対）	予習：教科書を読む（30分） 復習：電話応対を練習する（30分）	
10 .	第4章 マナー・接遇（来客応対）	予習：教科書を読む（30分） 復習：案内のしかた、席次を覚え（30分）	
11 .	第4章 マナー・接遇（社交業務）	教予習：科書を読む（30分） 復習：慶事・弔事の対応をまとめる（30分）	
12 .	第4章 マナー・接遇（社交業務）	予習：教科書を読む（30分） 復習：慶弔に合った上書きを書く（30分）	
13 .	第5章 技能（ビジネス文書）	予習：教科書を読む（30分） 復習：ビジネス文書を書く（30分）	
14 .	第5章 技能（ビジネス文書）	予習：教科書を読む（30分） 復習：内容にあったグラフを作成する（30分）	
15 .	達成度確認テスト	予習：教科書を読む（30分） 復習：前期の達成度を確認する（30分）	
教科書	『秘書検定2級クイックマスター』、『秘書検定実問題集2級』		
参考書			
学修成果の 評価方法	達成度確認テスト（50％）、授業態度（30％）、授業内課題（20％）		
特記すべき 事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談については、授業終了後に授業場所で受け付ける。		

科 目	マナー実践	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。マナー実践1で学んだ基礎知識を踏まえて、より実践的な状況対応能力を身につける。 本授業は表現学科の学修成果（4）に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。 秘書検定2級を取得する。		
学修成果の 評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	第5章 技能（会議における秘書の役割）	予習：教科書を読む（30分） 形式を覚える（30分）	
2 .	第5章 技能（文書の取り扱い）	予習：教科書を読む（30分） 信・受信の注意点をまとめる（30分）	
3 .	第5章 技能（文書・資料管理）	予習：教科書を読む（30分） 復習：ファイリング・整理用具を覚える（30分）	
4 .	第5章 技能（日程管理、環境整備）	予習：教科書を読む（30分） 復習：スケジュール表を作成する（30分）	
5 .	第5章 まとめ	予習：教科書を読む（30分） 復習：定着を図るため第5章の復習をする（30分）	
6 .	秘書検定対策	予習：教科書を読む（30分） 復習：過去問題を解く（30分）	
7 .	秘書検定対策	予習：教科書を読む（30分） 復習：過去問を解く（30分）	
8 .	総合演習（出張コーディネートとお礼状）	予習：教科書を読む（30分） 復習：お礼状を書く（30分）	
9 .	総合演習（交際業務）	予習：教科書を読む（30分） 復習：定着を図るため慶弔の復習をする（30分）	
10 .	総合演習（訪問・来客対応）	予習：教科書を読む（30分） 復習：案内・訪問のポイントを練習する（30分）	
11 .	総合演習（言葉遣い・電話対応）	予習：教科書を読む（30分） 復習：かけ方・受け方の練習をする（30分）	
12 .	秘書検定対策	予習：教科書を読む（30分） 復習：過去問題を（30分）	
13 .	秘書検定対策	予習：教科書を読む（30分） 復習：過去問題を解く（30分）	
14 .	1年間のまとめ	予習：教科書を読む（30分） 復習：1年間の総復習をする（30分）	
15 .	達成度確認テスト	教科書を読む（予習30分） 復習：1年間の達成度を確認する（30分）	
教科書	『秘書検定2級クイックマスター』、『秘書検定実問題集2級』		
参考書			
学修成果の 評価方法	達成度確認テスト（50％）、授業態度（30％）、授業内課題（20％）		
特記すべき 事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。 秘書検定2級または3級を全員受験のこと。		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談については、授業終了後に授業場所にて受け付ける。		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。職種や業種について研究するとともに、自身の進路における方向性を考える。本授業は表現学科の学修成果（5）に該当する。		
到達目標	早期から自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学修成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	キャリアとは キャリアについて、概念や価値観の説明	予習：キャリアとは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 適性診断	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	社会人基礎力の説明	予習：社会人基礎力について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	職種研究	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	業界研究	予習：業界研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先の検討について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：事前研修について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度（40％）、授業内課題および提出物（60％）		
特記すべき 事項	キャリア実践 の履修予定者のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。より具体的な進路活動へ向けて内容を深め、更なる自身の進路における方向性を考える。 本授業は表現学科の学修成果（5）に該当する。		
到達目標	自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学修成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	就職とは 就職について、概念や流れの説明	予習：就職について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 履歴書作成、リフレーミング	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	説明会 合同説明会の体験	予習：合同説明会について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	職種研究 人事部長になって採用したい人物を考える	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	求人票 求人票のみかた	予習：求人票について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：企業へのマナー・服装について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度（40％）、授業内課題および提出物（60％）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1 年前集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、3日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学修成果（8）に該当する。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って当事者意識を高める。また社会人の仕事に対する価値観などについて学ぶ。		
学修成果の 評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
2 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
3 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
4 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
5 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
6 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
7 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
8 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
9 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
10 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
11 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
12 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
13 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
14 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
15 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	就業体験先からの評価（50％）、課題および提出物（50％）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年後集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、5日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学修成果（8）に該当する。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って進路への方向性を明確にする。また社会人の仕事に対する価値観などについて気付きを深める。		
学修成果の 評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
2 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
3 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
4 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
5 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
6 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
7 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
8 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
9 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
10 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
11 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
12 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
13 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
14 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
15 .	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	就業体験先からの評価（50％）、課題および提出物（50％）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 ・ キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	メール、対面、いずれも可		

科 目	日本語表現法	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	授業概要の説明・自己紹介	教科書を読んでおく	
2 .	「話す」「聞く」「書く」「読む」の理解	教科書を読んでおく	
3 .	呼吸と発声・発音	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4 .	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5 .	「カ行」「ガ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6 .	「サ行」「ザ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7 .	「タ行」「ダ行」「ナ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8 .	「ハ行」「バ行」「パ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9 .	「マ行」「ヤ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10 .	「ラ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11 .	「ワ行」「撥音」「促音」「拗音」について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12 .	文章を読む	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	『日本語の発声レッスン』		
参考書	『NHKアクセント辞典』		
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、授業内発表（50％）		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	日本語表現法	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。 より多くの人に自分の意思を表現できるように、的確な音声表現が出来るようになる。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「外郎売」の発表を総合評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
2 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
3 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4 .	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5 .	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12 .	外郎売テスト	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	『日本語の発声レッスン』		
参考書	『NHKアクセント辞典』		
学修成果の 評価方法	受講態度（30％）、授業内発表（30％）、外郎売（40％）		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	1 年前期集中 選択、専門科目
担当者	山口剛一郎	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	650年以上、途絶えることなく演じられてきた日本を代表する舞台芸術である能について学び、実際に謡と舞の表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	袴を正しくつけ、「高砂」の謡と舞を実演することができるようになる。		
学修成果の 評価基準	最終日の実演にて 正しく袴をつけていること、 大きな声で謡を謡うこと、 正しい姿勢で舞うことを評価する		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	能について 能楽の歴史、流儀、番組、能舞台について	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
2 .	能について 袴のつけ方、扇の扱い方	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3 .	「高砂」の解説	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
10 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
11 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
12 .	「高砂」の謡、舞習得	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
13 .	公演に向けての役付け	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
14 .	公演リハーサル	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
15 .	公演	予習：テキストを読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
教科書			
参考書	能楽初心者向け冊子『学んでみよう能・狂言』（能楽協会）		
学修成果の 評価方法	授業態度（50%）、到達度の確認（50%）		
特記すべき 事項	足袋、浴衣、袴、扇を持参すること 能楽師として20年以上の実務経験		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学修成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バレエの歴史 ウーベルト (アンドゥオール) について	授業の予復習	
2 .	腕のポジション 足のポジション 方向について バレエ用語	授業の予復習	
3 .	バーレッスン 1	授業の予復習	
4 .	バーレッスン 2	授業の予復習	
5 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 3	授業の予復習	
6 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 4	授業の予復習	
7 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 5	授業の予復習	
8 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 6	授業の予復習	
9 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 7	授業の予復習	
10 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 8	授業の予復習	
11 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュウ 9	授業の予復習	
12 .	前期のまとめ・ポール・ド・ブラ	授業の予復習	
13 .		授業の予復習	
14 .		授業の予復習	
15 .		授業の予復習	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度 (50%) 、授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学修成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 1 アレグロのパへのアプローチ	授業の予復習	
2 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 2	授業の予復習	
3 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 3	授業の予復習	
4 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 4	授業の予復習	
5 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 5	授業の予復習	
6 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 6	授業の予復習	
7 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 7	授業の予復習	
8 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 8	授業の予復習	
9 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 9	授業の予復習	
10 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 1 0	授業の予復習	
11 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリュール 1 1	授業の予復習	
12 .	後期のまとめ・アダージョ・アレグロのアンシェヌマン	授業の予復習	
13 .		授業の予復習	
14 .		授業の予復習	
15 .		授業の予復習	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、授業内課題（50％）		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習をすることは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	身体表現する為の基礎を身につけていく。ステップや音楽に合わせて踊ることを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	音楽に合わせて表現することができる。		
学修成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ストレッチ・アイソレーション	ストレッチを行う	
2 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ	ステップ の予習・復習	
3 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ 復習	ステップ の復習	
4 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ	ステップ の復習	
5 .	ステップ 復習・ステップ ・コンビネーション	ステップ の復習コンビネーションの復習	
6 .	ステップ 復習・コンビネーション 復習・コンビネーション	ステップ の復習コンビネーション振り付けの復習	
7 .	コンビネーション 復習・音楽に合わせて踊る	コンビネーションの復習振り付けの復習	
8 .	コンビネーション ポイントをおさえながら踊ってみる	コンビネーションのポイント復習	
9 .	ターンの練習・コンビネーション を使った振り付け	ターンの復習振り付けの復習	
10 .	ターンの復習・コンビネーション を使った振り付け	ターンの復習振り付けの復習	
11 .	ターン・音楽に合わせて踊る・ポイントをおさえながら踊ってみる	ポイント復習	
12 .	ターン・コンビネーション 人前で踊る		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	ダンスシューズ・水分補給するための飲み物・タオル・身体のラインが見える動きやすい服装		
学修成果の 評価方法	受講態度（60％）、予習復習（30％）、試験（10％）		
特記すべき 事項	髪の長い方は結んでください		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	基礎力をつけながら、色んな曲を踊ってみる。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(6)に対応する。		
到達目標	振り付けを覚え、音楽に合わせて踊れるようになる。		
学修成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ダウンとアップの応用・コンビネーション	振り付けの復習	
2 .	ダウンとアップの応用・コンビネーション	振り付けの復習	
3 .	ダウンとアップの応用・振り付け	振り付けの復習	
4 .	コンビネーション ・振り付け	振り付けの復習	
5 .	コンビネーション ・振り付け	振り付けの復習	
6 .	コンビネーション ・振り付け	振り付けの復習	
7 .	クラブステップ ・コンビネーション	クラブステップの復習 振り付けの復習	
8 .	クラブステップ ・コンビネーション	クラブステップの復習 振り付けの復習	
9 .	ロジャーラビット ・コンビネーション	ロジャーラビット復習・振り付け の復習	
10 .	ロジャーラビット ・コンビネーション	ロジャーラビット復習・振り付け の復習	
11 .	チャールストン ・コンビネーション	チャールストンの復習 振り付けの復習	
12 .	チャールストン ・コンビネーション 試験		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	身体のラインが見える服装・シューズ・タオル・水分		
学修成果の 評 価 方 法	受講態度（60％）、予習復習（30％）、試験（10％）		
特記すべき 事 項	髪の高い人は結んでください		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究C -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	表現者として自分の肉体を知り、鍛錬し、表現の幅を広げていくための授業です。 音楽に合わせて身体を動かすことで心が動く、楽しみながら自由な身体表現を磨くと共に協調性やコミュニケーション力の向上を授業目的の一環とします。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として鍛錬を積み重ねていくことができる。		
学修成果の 評価基準	前期終了時にテストを行いその結果において評価する。 柔軟性を上げる 基礎の向上 振付を正確に覚えることができる 100点満点中50点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア	ストレッチ	
2 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション	ストレッチ、コンビネーション	
3 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動)	ストレッチ、コンビネーション	
4 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動、アクセント)	ストレッチ、コンビネーション	
5 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、アクセント)	ストレッチ、コンビネーション	
6 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、動きの流れ)	ストレッチ、コンビネーション	
7 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中でアクセント、身体のラインを意識する)	ストレッチ、コンビネーション	
8 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中で流れを意識してダイナミックに踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
9 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(フォーメーションの中で空間認識を持ち踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
10 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(空間認識を持ち踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
11 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
12 .	課題試験	ストレッチ、コンビネーション	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度(30%)、授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ、動きやすいストレッチ性のある服装で受講すること		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	身体表現研究C -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	表現者として自分の肉体を知り、鍛錬し、表現の幅を広げていくための授業です。 音楽に合わせて身体を動かすことで心が動く、楽しみながら自由な身体表現を磨くと共に協調性やコミュニケーションの向上を授業目的の一環とします。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として鍛錬を積み重ねていくことができる。		
学修成果の 評価基準	後期終了時にテストを行いその結果において評価する。 柔軟性の向上 基礎の向上 振付を正確に覚えることができる 100点満点中50点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(ビルエット、ターン)	ストレッチ、コンビネーション	
2 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(グランバットマン)	ストレッチ、コンビネーション	
3 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動)	ストレッチ、コンビネーション	
4 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(重心移動、アクセント)	ストレッチ、コンビネーション	
5 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、アクセント)	ストレッチ、コンビネーション	
6 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(身体の角度、動きの流れ)	ストレッチ、コンビネーション	
7 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中でアクセント、身体のラインを意識する)	ストレッチ、コンビネーション	
8 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(曲の中で流れを意識してダイナミックに踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
9 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(フォーメーションの中で空間認識を持ち踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
10 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(空間認識を持ち踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
11 .	身体基礎 (ストレッチ、ピラティス、アイソレーション)バレエ基礎、クロスフロア コンビネーション(オーディエンスを意識してダイナミックに踊る)	ストレッチ、コンビネーション	
12 .	課題試験	ストレッチ、コンビネーション	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業態度(30%)、授業中課題(70%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ、動きやすいストレッチ性のある服装で受講すること		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	伝統芸能研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	花柳三枝君	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では、浴衣の着付け及び美しい姿勢でのお辞儀や立ち座りと、日本舞踊「菊づくし」の踊り方を理解し、日本舞踊の基本的動きを学ぶと共に、見て真似をしながら学び取ることの大切さを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	浴衣の着付けの習得。美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀ができる。 長唄「菊づくし」の稽古により、腰の落とし方、腰の振り方、おすべりの仕方、三つ首の仕方、腕の伸ばし方、美しい手の使い方などを学ぶ。 長唄「菊づくし」の前半を踊れるようになる。		
学修成果の 評価基準	浴衣の着付けと美しい姿勢での立ち座りや、「菊づくし」の曲に合わせて踊ることにより、日本舞踊の基本的動きの達成度を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	日本舞踊の概説と受講時の心構え 日本舞踊の基本となる正しい姿勢での立ち座り、お辞儀の仕方、すり足の稽古		
2 .	長唄「菊づくし」の稽古(1)		授業の予復習
3 .	長唄「菊づくし」の稽古(2)		授業の予復習
4 .	浴衣の着付け 扇子を使い見立てを見せる。扇子の扱い方と扇子を使ってお辞儀の仕方		授業の予復習
5 .	浴衣の着付け 長唄「菊づくし」の稽古(3) と小テスト1 回目		授業の予復習
6 .	長唄「菊づくし」の稽古(4)		授業の予復習
7 .	長唄「菊づくし」の稽古(5)		授業の予復習
8 .	長唄「菊づくし」の稽古(6) と小テスト2 回目		授業の予復習
9 .	長唄「菊づくし」の稽古(7)		授業の予復習
10 .	長唄「菊づくし」の稽古(8)		授業の予復習
11 .	長唄「菊づくし」の稽古(9) と小テスト3 回目		授業の予復習
12 .	長唄「菊づくし」の稽古(1 0) と仕上げテスト		授業の予復習
13 .			授業の予復習
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度(20%)、小テストの評価(30%)、仕上げテストの評価(50%)		
特記すべき 事項	集中して手本の動きを見て、真似をして欲しい。 必ず復習して動きを覚えてきて欲しい。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業中又は授業前後も、授業場所あるいは非常勤講師室にて受け付ける。		

科 目	伝統芸能研究 A -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	花柳三枝君	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	前期に引き続き、美しい姿勢でのお辞儀、立ち座りなどの立ち居振る舞いを学ぶ。 前期の基本の動きから小唄「白扇の」の稽古により、柔らかく繊細な動きを観て感じて表現することで、日本人独特の繊細な感性や表現があることを学ぶ。 繰り返し復習して身に付けることを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	より美しい浴衣の着付けの習得。 美しい姿勢ですり足、立ち座り、正座でのお辞儀の習得。 小唄「白扇の」の踊りを通して、扇子の扱いができるようになる。 胸を使い柔らかい動きや、目線、指先にまで気を使って美しい動きができるようになる。		
学修成果の 評価基準	浴衣の着付けと美しい姿勢での立ち座りや、「白扇の」の曲を踊ることにより、柔らかい繊細な日本舞踊の動きや、扇子の扱い方の達成度を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	小唄「白扇の」の稽古 (1)		
2 .	小唄「白扇の」の稽古 (2)	授業の予復習	
3 .	小唄「白扇の」の稽古 (3) と小テスト 1 回目	授業の予復習	
4 .	小唄「白扇の」の稽古 (4)	授業の予復習	
5 .	小唄「白扇の」の稽古 (5)	授業の予復習	
6 .	小唄「白扇の」の稽古 (6) と小テスト2回目	授業の予復習	
7 .	小唄「白扇の」の稽古 (7)	授業の予復習	
8 .	小唄「白扇の」の稽古 (8)	授業の予復習	
9 .	小唄「白扇の」の稽古 (9) と小テスト3回目	授業の予復習	
10 .	小唄「白扇の」の稽古 (1 0)	授業の予復習	
11 .	小唄「白扇の」の稽古 (1 1)	授業の予復習	
12 .	小唄「白扇の」の稽古 (1 2) と仕上げテスト	授業の予復習	
13 .		授業の予復習	
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	美しい浴衣の着付けで、美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度 (20%)、小テストの評価 (30%)、仕上げテストの評価 (50%)		
特記すべき 事項	より集中して、手本の動きを見ながら真似をして欲しい。 必ず復習して、細かい注意点にも気を付け覚えてきて欲しい。		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談については、授業中又は授業前後も、授業場所あるいは非常勤講師室にて受け付ける。		

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音声のみでの表現の特性を学ぶ。 スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの習得。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	音声表現と身体表現の連動を感じ、自身の言葉に敏感な耳を得る。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	授業概要の説明		
2 .	声優の基礎知識・声で遊ぶ	台本を読んでおく	
3 .	台詞を読む	台本を読んでおく	
4 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
5 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
6 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
7 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
8 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
9 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
10 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
11 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
12 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（40％）、授業内発表（60％）		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音声のみでの表現の特性を学ぶ。 スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの習得。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	音声表現と身体表現の連動を感じ、自身の言葉に敏感な耳を得る。 声優を志す者は、特に言葉と向き合い、音声での表現力を身につける。		
学修成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
2 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
3 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
4 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
5 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
6 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
7 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
8 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
9 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
10 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
11 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
12 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（40％）、授業内発表（60％）		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音声表現研究 B -		開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	松本美和		授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要な専門用語やスタジオマナーを学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ 作品を作るにあたり、必要とされる演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。			
到達目標	声優として必要とされる演技の習得。 スタジオ内でのマナーやマイクワークの習得。 専門用語を理解し台本を読むだけで世界観を把握する。			
学修成果の 評価基準	授業内で積極的に発表を行い評価していく キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができるのか また 専門用語を理解しているか小テストを行う 総合評価が 6 0 % 以上で合格 (C 判定以上) となる			
	授 業 計 画 (授 業 内 容)			授業時間外学習 予習・復習
1 .	自己紹介 自分の魅力を表現し伝えることができるか			シラパスを読んでおく
2 .	スタジオマナー 専門用語 1			配布プリントを読んでおく
3 .	専門用語 2			配布プリントを読んでおく
4 .	マイクワーク			配布プリントを読んでおく
5 .	専門用語確認テスト アニメアフレコの基礎			配布プリントを読んでおく
6 .	アニメアフレコ (第一段階) 1 やってみたいキャラクターに挑戦			台本を読んでおく
7 .	アニメアフレコ (第一段階) 2 キャラクターの特徴や性格を理解する			台本を読んでおく
8 .	アニメアフレコ (第一段階) 3 作品発表 キャラクターの確立			台本を読んでおく
9 .	アニメアフレコ (第二段階) 1 自分に合ったキャラクターの模索			台本を読んでおく
10 .	アニメアフレコ (第二段階) 2 演じるキャラクターやシーンや状況を理解する			台本を読んでおく
11 .	アフレコ (第二段階) 3 状況に合わせた感情表現をする			台本を読んでおく
12 .	アニメアフレコ (第二段階) 4 作品発表 収録した作品をみる			台本を読んでおく
13 .				
14 .				
15 .				
教科書	なし			
参考書	なし			
学修成果の 評価方法	受講態度 (40 %) 、授業内課題 (40 %) 、その他【演技への積極性】 (20 %)			
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として 2 9 年の実務経験を有しています			
質問・相談 の 受 付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける			

科 目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	アニメアフレコにおいて声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(2)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立。 台本中で使用されている専門用語を理解することにより、作品の世界観を把握する。 マイクワークを身につけ制作作業を円滑に行う。		
学修成果の 評価基準	授業内で積極的に発表を行い評価していく (キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができるか) 総合評価が 6 0 % 以上で合格 (C 判定以上) となる		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	アニメアフレコ1-1 綿密なキャラクター作り(第一段階)	台本を読んでおく	
2 .	アニメアフレコ1-2 綿密なキャラクター作り(第二段階)	台本を読んでおく	
3 .	アニメアフレコ1-3 綿密なキャラクター作り(第三段階)	台本を読んでおく	
4 .	アニメアフレコ1-4 作品発表 綿密なキャラクター作り(第四段階)	台本を読んでおく	
5 .	アニメアフレコ2-1 長文のセリフに挑戦(第一段階)	台本を読んでおく	
6 .	アニメアフレコ2-2 長文のセリフに挑戦(第二段階)	台本を読んでおく	
7 .	アニメアフレコ2-3 長文のセリフに挑戦(第三段階)	台本を読んでおく	
8 .	アニメアフレコ2-4 作品発表 長文のセリフに挑戦(第四段階)	台本を読んでおく	
9 .	アニメアフレコと外画アテレコの違い 外画アテレコの収録を知る	配布プリント読んでおく	
10 .	外画アテレコ1-1 映像解析	台本を読んでおく	
11 .	外画アテレコ1-2 アテレコ実践	台本を読んでおく	
12 .	外画アテレコ1-3 作品発表	台本を読んでおく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度 (40%) 、授業内課題 (40%) 、その他【演技への積極性】 (20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として29年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科 目	歌唱表現法		開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	辺春容子		授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	楽譜に慣れ、音楽の基礎知識やソルフェージュ力を身につける。実技を通して、発生方法や身体の使い方を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。			
到達目標	5 度音程までの視唱をアカペラで歌唱できるようになる。なだらかな発語で課題曲の歌唱ができるようになる。			
学修成果の 評価基準	授業内で行ったことの復習、定着の度合い。 実技試験での音程・声量・表現の観点においての評価			
	授 業 計 画 (授 業 内 容)			授業時間外学習 予習・復習
1 .	音楽の基礎知識 視唱（ 2 度音程 1 ～ 2 ）			前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
2 .	音楽の基礎知識 視唱（ 2 度音程 ）	リズム練習 1 - 1 課題曲（ 1 ）－ 1		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
3 .	リズム練習 1 - 2 視唱（ 2 度音程 ）	課題曲（ 1 ） - 2 課題曲（ 2 ） - 1		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
4 .	リズム練習 2 - 1 視唱（ 2 度音程 ）	課題曲（ 1 ） - 3 課題曲（ 2 ） - 2		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
5 .	リズム練習 2 - 2 視唱（ 2 度音程 ）	課題曲（ 1 ） - 4 課題曲（ 2 ） - 3		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
6 .	リズム練習 3 - 1 視唱（ 3 度音程 ）	課題曲（ 2 ） - 4 課題曲（ 3 ） - 1		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
7 .	リズム練習 3 - 2 視唱（ 3 度音程 ）	課題曲（ 3 ） - 2 課題曲（ 4 ） - 1		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
8 .	リズム練習 3 - 3 視唱（ 4 度音程 ）	課題曲（ 3 ） - 3 課題曲（ 4 ） - 2		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
9 .	リズム練習 4 - 1 視唱（ 4 度音程 ）	課題曲（ 3 ） - 3 課題曲（ 4 ） - 2		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
10 .	リズム練習 4 - 2 視唱（ 4 度音程 ）	課題曲（ 4 ） - 3 課題曲復習		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
11 .	リズム練習 1 - 2 視唱（ 4 度音程 ）	課題曲復習		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
12 .	授業のまとめ			前回の授業内容の復習
13 .				
14 .				
15 .				
教科書	『基礎ソルフェージュ』（ソルフェージュ教育ライブラリー） 課題曲は授業時に配布			
参考書				
学修成果の 評価方法	受講態度（20％）、到達度確認テスト（80％）			
特記すべき 事項	実技に差し支えることのないように、各自で健康管理をしっかりと行っておく。			
質問・相談等 の 受 付				

科 目	歌唱表現法		開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	辺春容子		授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	前期の学習を踏まえ、より音楽的な歌唱表現をめざす。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。			
到達目標	さらに広い音程を安定して歌唱できるようになる。歌詞を理解することでより豊かな歌唱表現を工夫できるようになる。			
学修成果の 評価基準	授業内で行ったことの復習、定着の度合い。 実技試験での音程・声量・表現の観点においての評価			
	授 業 計 画 (授 業 内 容)			授業時間外学習 予習・復習
1 .	リズム練習 5 - 1 視唱 (5 度音程)	課題曲 (5) (6) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
2 .	リズム練習 5 - 3 視唱 (5 度音程)	課題曲 (5) (6) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
3 .	リズム練習 6 - 1 視唱 (6 度音程)	課題曲 (5) (6) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
4 .	リズム練習 6 - 2 視唱 (6 度音程)	課題曲 (7) (8) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
5 .	リズム練習 6 - 3 視唱 (6 度音程)	課題曲 (7) (8) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
6 .	リズム練習 7 - 1 視唱 (7 度音程)	課題曲 (7) (8) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
7 .	リズム練習 7 - 2 視唱 (8 度音程)	課題曲 (9) (1 0) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
8 .	リズム練習 7 - 3 視唱 (8 度音程)	課題曲 (9) (1 0) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
9 .	リズム練習 8 - 1 視唱 (総合練習)	課題曲 (9) (1 0) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
10 .	リズム練習 8 - 1 視唱 (総合練習)	課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
11 .	リズム練習 8 - 2 視唱 (総合練習)	課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み	
12 .	後期のまとめ		前回の授業内容の復習	
13 .				
14 .				
15 .				
教科書	『基礎ソルフェージュ』（ソルフェージュ教育ライブラリー） 課題曲は授業時に配布			
参考書				
学修成果の 評価方法	受講態度（20％）、到達度確認テスト（80％）			
特記すべき 事項	実技に差し支えることのないように、各自で健康管理をしっかりと行っておく。			
質問・相談等 の 受 付				

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。 それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 1 0 0 点満点中 5 0 点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ミュージカルとはなにか？（歴史と作品を学ぶ）	ウォーミングアップ	
2 .	発声の仕組みと呼吸法・発声法を学ぶ	発声・呼吸法	
3 .	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 の譜読みをする	発声・呼吸法・譜読み	
4 .	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 の構成を分析し、歌唱する	発声・呼吸法・譜読み	
5 .	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 のハーモニーを練習する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6 .	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 を歌いこむ	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7 .	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 に感情表現を入れて歌う	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8 .	楽曲 にステージングと台詞を入れてシーンを演じる	感情・歌・動きを整理する	
9 .	楽曲 のシーンを創造する	感情・歌・動きを整理する	
10 .	楽曲 のシーンを総合的に演じる	感情・歌・動きを整理する	
11 .	楽曲 のシーン（課題）を発表する	感情・歌・動きを整理する	
12 .	まとめ・振り返り	客観的に振り返る	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（30％）、授業内課題（70％）		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。 それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 1 0 0 点満点中 5 0 点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	楽曲 を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2 .	楽曲 を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3 .	楽曲 を歌い込む	録音し、反復練習	
4 .	楽曲 を歌い込む	録音し、反復練習	
5 .	楽曲 に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6 .	楽曲 に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7 .	楽曲 を発表（課題）する	客観的に振り返る	
8 .	楽曲 を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9 .	楽曲 を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10 .	楽曲 歌い込む	録音し、反復練習	
11 .	楽曲 にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12 .	楽曲 を（課題）発表する	客観的に振り返る	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（30％）、授業内課題（70％）		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	音楽表現	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルの楽曲はなぜ人々の魂を揺り動かすのか。 そこには一千数百年をかけて進化してきた西洋音楽の秘密が隠されている。 時を超えて脈々と引き継がれてきたその秘密を紐解く。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	楽曲に込められた 3 つの秘密を知り、それを表現する方法を身につける。 その表現法には『正解』があることを理解する。		
学修成果の 評価基準	授業内において評価する。 (1) 何をどう感じれば良いのかを理解する事ができる。 (2) 楽曲を分析する事ができる。 (3) 『正解』を表現する事ができる。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	『音』とは何か、『楽譜』とは何か、『声』とは何かを考える。	ウォーミングアップ	
2 .	楽曲 1 の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	C major scaleを練習する。	
3 .	楽曲 1 のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	C major cadenceを練習する。	
4 .	楽曲 1 のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	C major scaleをマスターする。	
5 .	楽曲 1 の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	C major cadenceをマスターする。	
6 .	楽曲 1 を歌う。	F major scaleを練習する。	
7 .	楽曲 2 の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	F major cadenceを練習する。	
8 .	楽曲2のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	F major cadenceを練習する。	
9 .	楽曲 2 のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	F major scaleをマスターする。	
10 .	楽曲 2 の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	F major cadenceをマスターする。	
11 .	楽曲 2 を歌う。	楽曲 1、2 を歌う。	
12 .	まとめ。		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布。		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（30％）、授業内課題（70％）		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	音楽表現	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルの楽曲はなぜ人々の魂を揺り動かすのか。 そこには一千数百年をかけて進化してきた西洋音楽の秘密が隠されている。 時を超えて脈々と引き継がれてきたその秘密を紐解く。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	楽曲に込められた 3 つの秘密を知り、それを表現する方法を身につける。 その表現法には『正解』があることを理解する。		
学修成果の 評価基準	授業内において評価する。 (1) 何をどう感じれば良いのかを理解する事ができる。 (2) 楽曲を分析する事ができる。 (3) 『正解』を表現する事ができる。 100 点満点中 60 点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	音楽表現 を振り返る。	音楽表現 を復習する。	
2 .	楽曲3の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	Aminorscaleを練習する。	
3 .	楽曲3のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	Aminorcadenceを練習する。	
4 .	楽曲3のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	Aminorscaleをマスターする。	
5 .	楽曲3の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	Aminorcadenceをマスターする。	
6 .	楽曲3を歌う。	Eminorscaleを練習する。	
7 .	楽曲4の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	E minorcadenceを練習する。	
8 .	楽曲4のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	E minorcadenceを練習する。	
9 .	楽曲4のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	E minorcadenceをマスターする。	
10 .	楽曲4の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	E minorcadenceをマスターする。	
11 .	楽曲4を歌う。	楽曲 1、2、3、4 を歌う。	
12 .	まとめ。		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布。		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度 (30 %)、授業内課題 (70 %)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として 4 0 年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	舞台演習	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台創造の基礎を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	舞台芸術におけるスタッフワークについての基礎知識を身に付ける。		
学修成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	劇場の基礎知識 (講義内容の説明・スケジュール・時間厳守などの説明)	予習：シラバスを読む(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2 .	劇場の基礎知識 (劇場見学 大谷講堂の見学)	予習：劇場の事を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3 .	劇場の基礎知識 (舞台用語 基礎知識の学び)	予習：舞台用語を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4 .	劇場の基礎知識 (舞台用語 基礎知識の学び)	予習：舞台用語を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5 .	バミリの説明(事前準備、舞台稽古、舞台転換、本番の想定)	予習：バミリを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6 .	舞台の安全について考える(安全確保の為の事前準備、出演者導線の確認など)	予習：安全を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7 .	舞台稽古についての説明(稽古の立ち会い方、台本製本の仕方など)	予習：舞台稽古を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8 .	公共劇場の利用(準備資料、事前打ち合わせ、劇場備品使用申請、現状復帰、挨拶の重要性)	予習：劇場管理を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9 .	舞台機構 (綱元の構造、綱元の安全確認)	予習：劇場機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10 .	舞台機構 (綱元操作)	予習：劇場機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11 .	舞台機構 (綱元操作)	予習：劇場機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12 .	舞台図面についての説明(平面図、断面図、正面図、転換表)	予習：舞台図面を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13 .	仕込み (平台と箱馬を使用した仕込み)	予習：劇場備品を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14 .	仕込み (舞台幕類の仕込み)	予習：劇場備品を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15 .	まとめ(前期の復習 ・ 振り返りと点検)	予習：前期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度(50%)、授業内課題(50%)		
特記すべき 事項	作業用の革手袋の準備をお願いします。		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談は授業の前後に受け付ける		

科 目	舞台演習	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	前期の舞台演習 で学んだ基礎知識を基に、より詳細な劇場スタッフに必要な知識を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(4)に対応する。		
到達目標	質の高い舞台芸術を創作するためのスタッフの役割と業務を理解する。		
学修成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	前期の復習（前期で学んだ事の再確認）	予習：前期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2 .	綱元操作の復習 （舞台機構の再確認）	予習：舞台機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3 .	綱元操作の復習 （舞台機構の再確認）	予習：舞台機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4 .	綱元操作の復習 （舞台機構の再確認）	予習：舞台機構を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5 .	舞台監督の役割についての説明と確認	予習：舞台監督を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6 .	事前準備の重要性 （公演演目の把握と各スタッフ打ち合わせ内容の確認など）	予習：事前準備を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7 .	事前準備の重要性 （タイムスケジュールの計画、図面の作成など）	予習：事前準備を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8 .	舞台監督のしごと （搬入、仕込み等の確認）	予習：舞台監督を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9 .	舞台監督のしごと （舞台転換の確認、テクニカルリハーサルの手順や段取りの確認）	予習：舞台監督を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10 .	舞台監督のしごと （場当たり、ゲネプロなど）	予習：舞台監督を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11 .	舞台監督のしごと （本番、バラシなど）	予習：舞台監督を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12 .	舞台備品の仕込み （電動工具類を使用した仕込み・インパクトドライバーの使い方など）	予習：電動工具を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13 .	舞台備品の仕込み （スチールデッキ）	予習：劇場備品を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14 .	舞台備品の仕込み （パネルの仕込み）	予習：劇場備品を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15 .	まとめ（後期の復習 ・ 振り返りと点検）	予習：後期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、授業内課題（50％）		
特記すべき 事項	作業用の革手袋の準備をお願いします。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける		

科 目	音響基礎	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では音響の基本知識・技術の習得を理解し実際に演劇公演等での音響基礎知識の技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	中間発表に必要な音響技術の実習を到達目標とする。 (演劇公演等に行うSE (効果音) 等の再生オペレートを行う作業)		
学修成果の 評価基準	基礎的な到達度確認テスト(レポート)を実施し評価する。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	音響の基礎 音響システムの基本構成と役割について	予習：PAについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
2 .	音響の基礎 音響システムの基本構成と役割について	予習：音響システムについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
3 .	各種ケーブルの巻き方 マイクケーブルを実際に巻く	予習：ケーブルの巻き方8の字巻きについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
4 .	各種ケーブルの巻き方 太めのマルチケーブルを巻く	予習：ケーブルの巻き方8の字巻きについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
5 .	音響機器の特性と用途	予習：オーディオ再生機器について調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
6 .	音響機器の特性と用途	予習：その他のオーディオ再生機器について調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
7 .	音響ミキサーについて	予習：アナログミキサーについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
8 .	音響ミキサーについて	予習：アナログミキサーの操作方法について調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
9 .	音響ミキサーについて	予習：アナログミキサーの操作方法について調べる2 (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
10 .	音響機材の接続	予習：音響機材接続について調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
11 .	音響機材の接続	予習：その他音響機材接続について調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
12 .	音響機材の接続	予習：その他音響機材接続について (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
13 .	劇場の音響について	予習：劇場等の音響システムについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
14 .	劇場の音響について	予習：劇場等の音響システムについて調べる (30分) 復習：授業内容を振り返る (30分)	
15 .	まとめ	予習：これまでの内容を振り返る (30分) 復習：本科目を振り返る (30分)	
教科書	なし		
参考書	マイクロホンテクニック		
学修成果の 評価方法	受講態度 (40%) 、授業内課題 (30%) 、その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音響基礎	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響の基礎技術を習得し、音響システムを理解し音響のオペレーターの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	音が出るまでの配線等を理解しオペレーターを行える事を目標とする。		
学修成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	音響の仕込み図の書き方	予習：記号・楽器等について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
2 .	音響の仕込み図の書き方	予習：音響仕込み図について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
3 .	仕込み図を見てのセッティング	予習：仕込み図の見方を調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
4 .	劇場にての音出し	予習：どのような音響セッティングがあるか調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
5 .	イコライザーでの調整方法	予習：イコライザーについて調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
6 .	エフェクターの種類について	予習：エフェクターの種類を調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
7 .	音源の編集	予習：効果音について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
8 .	音源の編集	予習：音源の編集方法を調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
9 .	音源の編集	予習：音源の編集方法を調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
10 .	デジタルミキサーの使い方	予習：デジタルミキサーについて調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
11 .	デジタルミキサーの使い方	予習：デジタルミキサーについて調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
12 .	音源の再生	予習：音響システムからの音出しについて調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
13 .	音源の再生	予習：音響システムからの音出しについて調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
14 .	音響機器を一人で接続してみる	予習：音響機材の配線について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
15 .	まとめ	予習：これまでのの内容を振り返る（30分） 復習：本科目を振り返る（30分）	
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度（40％）、授業内課題（30％）、その他【到達度テスト】（30％）		
特記すべき 事項	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響基礎」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	照明基礎	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台照明の基礎知識と作業内容の学習。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	舞台芸術における照明の役割を理解する。		
学修成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	舞台芸術における舞台照明の役割 照明機材について	予習：舞台照明について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
2 .	様々な照明演出効果。光の当て方、影の作り方 専門用語について	予習：舞台照明について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
3 .	カラーフィルターについて 場面に合わせてシーンを再生してみる	予習：光の三原色について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
4 .	照明仕込図の読み方 電気の知識について	予習：照明仕込図について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
5 .	ケーブルの種類、DMX信号について	予習：舞台照明用配線器具について（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
6 .	サスペンションライト吊込み、安全作業について	予習：舞台照明設備について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
7 .	チャンネル表、パッチ、点灯チェック、トラブル対応等	予習：舞台照明設備について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
8 .	ムービングスポットライト、LED機器について	予習：LEDについて調べる（30分） 復習：授業（30分）内容ふりかえり（30分）	
9 .	フォーカス（サス）、照明操作棒の取り扱い方法について	予習：舞台照明設備について調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
10 .	フォーカス（フロント、シーリング）、高所作業について	予習：舞台照明設備について調べる（30分） 復習（：授業内容ふりかえり（30分）	
11 .	夏公演～プランニング、キューシート作成	予習：台本の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
12 .	夏公演～仕込み	予習：仕込図の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
13 .	夏公演～フォーカス	予習：仕込図の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
14 .	夏公演～明かりづくり、きっかけ合わせ	予習：キューシートの確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
15 .	夏公演～ふりかえり	予習：作業全般のふりかえり（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度（60％）、授業内課題（40％）		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の 受 付	授業前後に授業場所にて受け付けます		

科 目	照明基礎	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	作品の照明演出効果を考える。照明仕込図についての学習。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(1)に対応する。		
到達目標	作品に必要な照明をイメージすることができる。		
学修成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	前期学習内容のふりかえり、今後の学習について	予習：前期での作業内容の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
2 .	アンドワン公演～プランニング	予習：台本の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
3 .	アンドワン公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習：プランニングの確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
4 .	アンドワン公演～フォーカス	予習：仕込図の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
5 .	アンドワン公演～シーンの再生（調光卓操作）	予習：きっかけの確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
6 .	アンドワン公演～まとめ	予習：作業全般のふりかえり（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
7 .	撤去作業、安全作業、機材メンテナンスについて	予習：舞台照明機材について（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
8 .	ムービングスポットライト、LED機器について	予習：LEDについて調べる（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
9 .	卒業公演～プランニング、キューシート作成	予習：台本の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
10 .	卒業公演～プランニングの共有	予習：台本の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
11 .	卒業公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習：仕込図の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
12 .	卒業公演～仕込み、パッチ、点灯チェック、フォーカス	予習：仕込図の確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
13 .	卒業公演～明かりづくり（シーン記憶・再生・修正）	予習：キューシートの確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
14 .	卒業公演～きっかけ合わせ	予習：きっかけの確認（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
15 .	卒業公演～ふりかえり	予習：作業全般のふりかえり（30分） 復習：授業内容ふりかえり（30分）	
教科書	なし		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、授業内課題（50％）		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の 受 付	授業前後に授業場所に於て受け付けます		

科 目	舞台機構演習	開講時期 履修方法	1 年前期集中 選択、専門科目
担当者	平井克樹	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台機構講習に向けての知識、技術の習得を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する		
到達目標	舞台機構演習3級に向けての実技、筆記の習得を目的とする。		
学修成果の 評価基準	到達度確認テスト（ 3 級問題集 実技 要素問題 ）を実施し評価する		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習：過去問題を読む（30分） 復習：今回の内容を振り返りまと めておく(30分)	
2 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習：過去問題を読む（30分） 復習：今回の内容を振り返りまと めておく(30分)	
3 .	実技試験の実習とポイント説明	予習：過去問題を読む（30分） 復習：今回の内容を振り返りまと めておく(30分)	
4 .	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習：過去問題を読む（30分） 復習：間違えた個所を確認し理解 する(30分)	
5 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習：楽器の音と形を確認する (30分) 復習：間違えた個所を確 認し理解する(30分)	
6 .	実技試験の実習とポイント説明	予習：実技試験の段取りを確認(3 0分) 復習：上手く行かなかった 個所を反復練習(30分)	
7 .	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習：過去問題を読む（30分） 復習：間違えた個所を確認し理解 する(30分)	
8 .	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習：楽器の音と形を確認する (30分) 復習：間違えた個所を 確認し理解する(30分)	
9 .	実技試験の実習とポイント説明	予習：実技試験の段取りを確認(3 0分) 復習：上手く行かなかった 個所を反復練習(30分)	
10 .	学科模擬試験と復習	予習：過去問題を読む（30分） 復習：間違えた個所を確認し理解 する(30分)	
11 .	学科模擬試験と復習	予習：過去問題を読む（30分） 復習：間違えた個所を確認し理解 する(30分)	
12 .	要素試験の模擬テストと復習	予習：楽器の音と形を確認する (30分) 復習：間違えた個所を確 認し理解する(30分)	
13 .	要素試験の模擬テストと復習	予習：楽器の音と形を確認する (30分) 復習：間違えた個所を確 認し理解する(30分)	
14 .	実技模擬試験と復習	予習：実技試験の段取りを確認(3 0分) 復習：上手く行かなかった 個所を反復練習(30分)	
15 .	実技模擬試験と復習 重要ポイントの再確認	予習：実技要素の内容を振り返る (30分) 復習：上手く行かなか った個所を反復練習(30分)	
教科書	舞台機構調整技能検定 3 級試験問題集		
参考書	舞台機構調整技能検定 3 級試験問題集		
学修成果の 評価方法	受講態度（20％）、小テスト（50％）、授業内課題（30％）		
特記すべき 事項	授業内容の反復練習を行う。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	表現基礎	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演技理論、演劇ワークショップを交えながら、表現の基礎となる歪みのない身体と声の獲得を目指します。 また、表現者としての土台作りを図り、小規模の発表を行い、作品と演技の理解を深めます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。		
到達目標	自分の特徴を知り、自己表現力の基礎をつくる。 また、演劇の学びを通して、他に共感し、場をつくり関わるができる。		
学修成果の 評価基準	演技に関する積極的な取り組み、発表を「授業態度」の評価とする。 作品研究、人物考察の達成度を測るための「到達度確認テスト」で評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について 稽古場の三原則を理解する	予習：シラバスを見ておく（2時間） 復習：三原則を覚える（2時間）	
2 .	MAPコミュニケーションと登場人物の背景について	予習：偏愛MAPを作成する（2時間） 復習：追加があれば書き込む（2時間）	
3 .	演劇ワーク「フルーツバスケット」、「ジョハリの窓」解説	予習：コミュニケーションの意味を知る（2時間） 復習：日常で試してみる（2時間）	
4 .	腹式呼吸を体得し、バランスの取れた身体感覚を持つ	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：日常で試してみる（2時間）	
5 .	身体運動と下半身の安定 ニュートラルな姿勢、歩行のレッスン	予習：ストレッチする（2時間） 復習：日常で試してみる（2時間）	
6 .	演劇ワーク「WA!」、「ストーリーづくり」気持ちの開放について	予習：ワークショップの意味を知る（2時間） 復習：遊びの感覚を掴む（2時間）	
7 .	「見る・見られる」ことによる心理的・視野的省察	予習：アイコンタクトの観察（2時間） 復習：日常で試してみる（2時間）	
8 .	緊張のコントロールについて～自意識とイメージ設定力～	予習：自意識について理解する（2時間） 復習：小さな成功体験を重ねる（2時間）	
9 .	丹田を認識・知覚し、心身の状態を保つことに役立てる	予習：丹田の意味を知る（2時間） 復習：実際に数回やってみる（2時間）	
10 .	演劇ワーク「母音ゼスチャー」5つの母音について	予習：母音の音を聴いてみる（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）	
11 .	日本語の音声構造を理解し、理想的な発声に近づける	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：母音変換に慣れる（2時間）	
12 .	良い発声について考え、発声技能を高める	予習：自分の声の特徴を知る（2時間） 復習：学んだ事を観察してみる（2時間）	
13 .	いろいろな音声を出し、自身の発話の特徴をつかむ	予習：声を録音してみる（2時間） 復習：積極的に発話する。（2時間）	
14 .	演劇ワーク「一枚の絵」「演技連鎖」	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）	
15 .	身体感覚と記憶を知覚する	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：過去の記憶や習慣を思い出す（2時間）	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、到達度確認テスト（50％）		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で受け付け可		

科 目	表現基礎	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演技理論、演劇ワークショップを交えながら、表現の基礎となる歪みのない身体と声の獲得を目指します。 また、表現者としての土台作りを図り、小規模の発表を行い、作品と演技の理解を深めます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(3)に対応する。		
到達目標	自分の特徴を知り、自己表現力の基礎をつくる。 また、演劇の学びを通して、他に共感し、場をつくり関わるができる。		
学修成果の 評価基準	演技に関する積極的な取り組み、発表を「授業態度」の評価とする。 作品研究、人物考察の達成度を測るための「到達度確認テスト」で評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	演劇ワーク「モーニングページ」、自己開放に役立てる	予習：数日、日記をつける（2時間） 復習：自己開放について考察する（2時間）	
17 .	演劇ワーク「一問一答」、物を生かす(キャラクター造形)	予習：日常生活で触れている物を思い出す（2時間） 復習：物への想像的会話をおこなう（2時間）	
18 .	演劇ワーク「彫刻家」、身体感覚を磨く	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：彫刻テーマを考える（2時間）	
19 .	キャラクターを捉える具体的作業、エンパシー能力の醸成	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：エンパシーの意味を理解する（2時間）	
20 .	ひとり台詞(科白)「ブンナよ、木からおりてこい」作品理解	予習：著者を調べる（2時間） 復習：発声の要素を理解する（2時間）	
21 .	心のイメージと演技の型(メリハリ往復運動) 類似体験と類似人物の引用	予習：配布テキストを読む（2時間） 復習：心の引き出しを使うようになる（2時間）	
22 .	演劇ワーク「新聞記者」、取材報告	予習：新聞を読んでみる（2時間） 復習：日常の中で実感を得る（2時間）	
23 .	演劇ワーク「空間構成」、舞台の動き方	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：日常生活での観察をおこなう（2時間）	
24 .	エチュード「王様と召使い」	予習：三原則を確認しておく（2時間） 復習：日常生活での観察をおこなう（2時間）	
25 .	ステイタス表に基づく人物相対化	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：演技の指針に取り入れる（2時間）	
26 .	エチュード「部活動」	予習：三原則を確認しておく（2時間） 復習：空間・場面の視点が持てる（2時間）	
27 .	集団創作とチームの強み	予習：エチュードの意味を理解する（2時間） 復習：空間・場面の視点が持てる（2時間）	
28 .	対話の種類「3つの輪」その1	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間）	
29 .	対話の種類「3つの輪」その2	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：日常生活での観察をおこなう（2時間）	
30 .	知識と学習のまとめ / 到達度確認テスト	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：振り返り（2時間）	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（50％）、到達度確認テスト（50％）		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。 予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	九州大谷Online(Classroom)で受け付け可		

科 目	舞台表現法	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	いかなる表現もその基本となるのは「感情」である。その感情を表現するために訓練された発声法が必要であり、肉体が必要である。 この講座では表現の基礎である「感情」の動きに焦点を合わせ舞台表現者としての基礎を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する		
到達目標	自己の肉体と声を知り、自由な表現が出来るようになる。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 ニュートラルに立ち、歩く事が出来る。 腹式呼吸で発声が出る。 嘘のない感情表現が出る。 独創性を持ち、自由な発想で表現出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	発声法 (発声の仕組みを学ぶ)	ウォーミングアップ	
2 .	発声法 (腹式呼吸)	ウォーミングアップ 呼吸法	
3 .	発声法 (身体の共鳴)	発声・ウォーミングアップ・呼吸 法	
4 .	発声法 (音階発声)	発声・ウォーミングアップ・呼吸 法	
5 .	肉体表現 (体幹トレーニング)	発声・ウォーミングアップ・呼吸 法	
6 .	肉体表現 (音楽に合わせて動く)	発声・ウォーミングアップ 音楽からイメージするものを自由 に創造する	
7 .	肉体表現 (肉体コントロールとリラックス)	発声・ウォーミングアップ 肉体の緊張と緩和を繰り返し集中 している時の感覚を捉える	
8 .	肉体表現 (動物を観察し演じてみる)	実際の動物をよく観察し絵を書く 動物に	
9 .	感情表現 (感情の起こりを見つける)	日常の感情の起こる瞬間を分析し 再現してみる	
10 .	感情表現 (刺激と反応)	日常での他者との関わりの中でビ ヘイビアを観察する	
11 .	感情表現 (行動すること)	目的があるから行動があることを 日常から発見する	
12 .	感情表現 (表現すること・存在すること)	日常で存在している自分と表現し ようとしている自分を発見する	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布する。		
参考書			
学修成果の 評 価 方 法	授業態度 (30%) 授業内課題 (70%) 授業内課題発表時にコメント、フィードバックします。		
特記すべき 事 項	1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出する。 動ける服装で受講すること。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	舞台表現法	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	リアリズム演技の考察～想像の設定の中で真実を生きることとは何かを学ぶ。 戯曲からシーンを演じ、表現の本質を探究します。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(5)に対応する。		
到達目標	自由で個性豊かな俳優としての基礎を身に付け、表現者として自らの課題を発見することが出来る。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 肉体開放が出来る。 状況に応じたリアルな表現が出来る。 相手を受け入れ反応する事が出来る。 脚本、演出の意図を汲み演技をすることが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	トラスト練習 (自己開示・未知の領域に飛び込む)	ウォーミングアップ・発声・リ ラックス	
2 .	感情準備 (感情の記憶を誘発する) ・ センスリーワーク (感じることの反復動作)	ウォーミングアップ・発声・リ ラックス	
3 .	置き換え練習 (魔法の i f を用いる)	ウォーミングアップ・発声・リ ラックス	
4 .	i f を用いたエチュード・喜怒哀楽	ウォーミングアップ・発声・リ ラックス	
5 .	シーンワーク (台詞・相手との関わり)	台本を読み、分析する 感情を呼び覚ます	
6 .	シーンワーク (シーンの目的)	台本を読み、分析する 感情を呼び覚ます	
7 .	シーンワーク (前状況を考える)	台本を読み、分析する 人物の背景を考察する	
8 .	シーンワーク (キャラクター作り・イメージで演じない)	台本を読み、分析する 経験のないものを観察・体験する	
9 .	シーンワーク (脚本分析・目的とテーマを導き出す)	台本を読み、分析する 台詞を覚える	
10 .	シーンワーク (本読み・事前に準備すること)	台本を読み、分析する 台詞を覚え、感情を呼び覚ます	
11 .	シーンワーク (自意識との戦い～相手を受け入れる)	台本を読み、分析する 相手と関わることに集中する	
12 .	シーンワーク (自己葛藤から行動へ)	台本を読み、分析する 衝動に身を任せる	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布する。		
参考書			
学修成果の 評 価 方 法	授業態度 (30%) 授業内課題 (70%) 課題発表時にコメント、フィードバックします。		
特記すべき 事 項	動ける服装で受講の事。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	舞台演習基礎	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	1年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 授業態度に加え、各達成度を測るために、到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	顔合わせ	キャスト・スタッフについて知る (予習・復習各30分)	
2 .	スケジュール打合せ	スケジュールを組み立てる (予習・復習各30分)	
3 .	台本読み	台本を読む・セリフを覚える (予習・復習各30分)	
4 .	台本読み	台本を読む・セリフを覚える (予習・復習各30分)	
5 .	台本読み	台本を読む・セリフを覚える (予習・復習各30分)	
6 .	台本読み	台本を読む・セリフを覚える (予習・復習各30分)	
7 .	台本読み	台本を読む・セリフを覚える (予習・復習各30分)	
8 .	衣装合わせ	衣装を集める (予習・復習各30分)	
9 .	衣装合わせ	衣装を集める (予習・復習各30分)	
10 .	音響・音楽打合せ	楽曲リストをつくる (予習・復習各30分)	
11 .	音響・音楽打合せ	楽曲リストをつくる (予習・復習各30分)	
12 .	舞台稽古	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
13 .	舞台稽古	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
14 .	舞台稽古	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
15 .	中間まとめ・チーフ会議	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業態度（50％）、公演目標達成度（50％）		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科 目	舞台演習基礎	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	1年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 授業態度に加え、各達成度を測るために、到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	照明合わせ	照明プランを考える (予習・復習各30分)	
17 .	照明合わせ	照明プランを考える (予習・復習各30分)	
18 .	照明合わせ	照明プランを考える (予習・復習各30分)	
19 .	照明合わせ	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
20 .	照明合わせ	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
21 .	照明合わせ	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
22 .	照明合わせ	役と役の関係や交流を考える (予習・復習各30分)	
23 .	舞台リハーサル	場面の動作を確認する (予習・復習各30分)	
24 .	舞台リハーサル	場面の動作を確認する (予習・復習各30分)	
25 .	舞台リハーサル	場面の動作を確認する (予習・復習各30分)	
26 .	上演	成果発表後ノートをつける (予習・復習各30分)	
27 .	上演	ノートを基に修正する (予習・復習各30分)	
28 .	上演	ノートを基に修正する (予習・復習各30分)	
29 .	上演	ノートを基に修正する (予習・復習各30分)	
30 .	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業態度（50％）、公演目標達成度（50％）		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の 受 付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、専門科目
担当者	荒川大地	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	地域が支えるプロラグビーチーム「ルリー口福岡」のブランディング活動をおこなう。 代表はじめ、地域で働きながらラグビーに取り組む選手のインタビューや取材、チームと地域の関わりによって生まれる新たな価値を表現する学びをおこなう。 12月のホーム開幕戦において学びのアウトプットを行い、表現の振り返り、今後の課題を見つけ「筑後の魅力」の充実に繋げる。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果（8）に対応する。		
到達目標	ブランディングをする上での情報収集、情報整理、コンテンツ作成、広報、アウトプットができることを目標とする。		
学修成果の 評価基準	ブランディング活動をする上での主体的関わり、他者との協働、多様なアイデアの想像力を評価する。 本科目は学修成果8に該当する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1 .	オリエンテーション、ルリー口福岡の活動【学内】	予習：事前調査（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
2 .	オリエンテーション、ルリー口福岡の活動【学内】	予習：事前調査（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
3 .	ルリー口福岡を知る（情報収集・発表）【学内】	予習：事前調査（30分） 復習：発表内容の確認（：30分）	
4 .	ルリー口福岡を知る（情報収集・発表）【学内】	予習：事前調査（30分） 復習：発表内容の確認（：30分）	
5 .	ルリー口福岡を知る -1（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
6 .	ルリー口福岡を知る -2（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
7 .	ルリー口福岡を知る -1（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
8 .	ルリー口福岡を知る -2（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
9 .	ルリー口福岡を知る -1（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
10 .	ルリー口福岡を知る -2（取材交渉・取材）	予習：取材内容の検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
11 .	コンテンツ検討（学内）・グループ発表	予習：コンテンツ検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
12 .	コンテンツ検討（学内）・グループ発表	予習：コンテンツ検討（30分） 復習：講義内容の振り返り（30分）	
13 .	コンテンツ作成 -1（密着動画、開幕戦ダンス出演など）	予習：コンテンツ検討（30分） 復習：内容検討（30分）	
14 .	コンテンツ作成 -2（密着動画、開幕戦ダンス出演など）	予習：コンテンツ検討（30分） 復習：内容検討（30分）	
15 .	コンテンツ作成 -1	予習：コンテンツ検討（30分） 復習：ブラッシュアップ（30分）	
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業への取り組み姿勢（60％）、取り組み発表（40％）		
特記すべき 事項	学外への移動は各自でおこなう。 開幕戦は12月下旬を予定（週末開催・授業コマ充当）		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、専門科目
担当者	荒川大地	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	地域が支えるプロラグビーチーム「ルリー口福岡」のブランディング活動をおこなう。 代表はじめ、地域で働きながらラグビーに取り組む選手のインタビューや取材、チームと地域の関わりによって生まれる新たな価値を表現する学びをおこなう。 12月のホーム開幕戦において学びのアウトプットを行い、表現の振り返り、今後の課題を見つけ「筑後の魅力」の充実に繋げる。 本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果（8）に対応する。		
到達目標	ブランディングをする上での情報収集、情報整理、コンテンツ作成、広報、アウトプットができることを目標とする。		
学修成果の 評価基準	ブランディング活動をする上での主体的関わり、他者との協働、多様なアイデアの想像力を評価する。 本科目は学修成果8に該当する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
16 .	コンテンツ作成 -2		予習：コンテンツ検討（30分） 復習：ブラッシュアップ（30分）
17 .	広報手段検討（学内検討）・グループ発表		予習：事前調査（30分） 復習：発表の振り返り（30分）
18 .	広報手段検討（学内検討）・グループ発表		予習：事前調査（30分） 復習：発表の振り返り（30分）
19 .	広報活動 -1		予習：事前調査（30分） 復習：広報手段のまとめ（30分）
20 .	広報活動 -2		予習：事前調査（30分） 復習：広報手段のまとめ（30分）
21 .	広報活動 -1		予習：手段の検討（30分） 復習：振り返り（30分）
22 .	広報活動 -2		予習：手段の検討（30分） 復習：振り返り（30分）
23 .	ルリー口福岡 開幕戦（久留米市陸上競技場） 予定		予習：事前調査（30分） 復習：振り返り（30分）
24 .	ルリー口福岡 開幕戦（久留米市陸上競技場） 予定		予習：事前調査（30分） 復習：振り返り（30分）
25 .	ルリー口福岡 開幕戦（久留米市陸上競技場） 予定		予習：事前調査（30分） 復習：振り返り（30分）
26 .	ルリー口福岡 開幕戦（久留米市陸上競技場） 予定		予習：事前調査（30分） 復習：振り返り（30分）
27 .	振り返り・課題洗い出し -1		予習：事業内容の振り返り（30分） 復習：課題の検討（30分）
28 .	振り返り・課題洗い出し -2		予習：事業内容の振り返り（30分） 復習：課題の検討（30分）
29 .	振り返り・課題洗い出し -1		予習：事業内容の振り返り（30分） 復習：課題の検討（30分）
30 .	振り返り・課題洗い出し -2		予習：事業内容の振り返り（30分） 復習：課題の検討（30分）
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	授業への取り組み姿勢（60％）、取り組み発表（40％）		
特記すべき 事項	学外への移動は各自でおこなう。 開幕戦は12月下旬を予定（週末開催・授業コマ充当）		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	表現の世界	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、専門科目
担当者	梁木靖弘	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	表現とは何かを、文化芸術という洗練された専門領域ではなく、人間とは何かを視野に収めつつ、アイドルから遊びまで具体的なテーマについて考察する。 本授業は表現学科の学修成果（5）に対応する。		
到達目標	さまざまなアプローチをしていくなかで、表現は身体であり、身体は表現である、ということを学ぶ。		
学修成果の 評価基準	毎時間出席することが求められるが、そのつど小レポートを提出してもらい、理解度をはかる。 最後にまとめレポートを書いてもらい、最終的な理解度を査定する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	日常でもっとも顕著な表現は<推し>活ではなからうか。まず、アイドルとは何かを考えたい。映画「ヘルプ！」を参考に<アイドル>を考える。前編	映画「ビートルズがやって来るヤァヤァヤァ」と「ヘルプ！」を見る（予復習各2時間）	
2 .	日常でもっとも顕著な表現は<推し>活ではなからうか。まず、アイドルとは何かを考えたい。映画「ヘルプ！」を参考に「アイドルとは何か」を考える。後編	映画「ビートルズがやって来るヤァヤァヤァ」と「ヘルプ！」を見る（予復習各2時間）	
3 .	もっと広い視野、<芸能>というくくりで考える。アイドルによって6度も映画化された映画「伊豆の踊子」を参考に乃木坂46などとの比較をする。前編	映画「伊豆の踊子」を見る（予復習各2時間）	
4 .	もっと広い視野、<芸能>というくくりで考える。アイドルによって6度も映画化された映画「伊豆の踊子」を参考に乃木坂46などとの比較をする。後編	映画「伊豆の踊子」を見る（予復習各2時間）	
5 .	日本文化の<かわいい>がなぜ世界を席卷しているのか。映画「下妻物語」を参考に、かわいいがなぜ最強なのかを考える。後編前編	映画「下妻物語」を見る（予復習各2時間）	
6 .	日本文化の<かわいい>がなぜ世界を席卷しているのか。映画「下妻物語」を参考に、かわいいがなぜ最強なのかを考える。後編	映画「下妻物語」を見る（予復習各2時間）	
7 .	近代からこぼれ落ちる<かわいい>は<サブカルチャー>とどういう関係にあるのか。映画「ロッキー・ホラー・ショー」を参考にサブカルを考える。前編	映画「ロッキー・ホラー・ショー」を見る（予復習各2時間）	
8 .	近代からこぼれ落ちる<かわいい>は<サブカルチャー>とどういう関係にあるのか。映画「ロッキー・ホラー・ショー」を参考にサブカルを考える。後編	映画「ロッキー・ホラー・ショー」を見る（予復習各2時間）	
9 .	表現の比較として、社交ダンスをテーマにした映画「Shall we ダンス？」を参考に、日本と西欧の身体表現の違いを考える。前編	映画「Shall we ダンス？」を見る（予復習各2時間）	
10 .	表現の比較として、社交ダンスをテーマにした映画「Shall we ダンス？」を参考に、日本と西欧の身体表現の違いを考える。後編	映画「Shall we ダンス？」を見る（予復習各2時間）	
11 .	さらに広い視野から、遊ぶ動物・人間を考えなければならない。映画「ロシュフォールの恋人たち」を参考に<遊び>を考える。前編	映画「ロシュフォールの恋人たち」を見る（予復習各2時間）	
12 .	さらに広い視野から、遊ぶ動物・人間を考えなければならない。映画「ロシュフォールの恋人たち」を参考に<遊び>を考える。後編	映画「ロシュフォールの恋人たち」を見る（予復習各2時間）	
13 .	最後に、「表現とは身体である」を学ぶ。身体がなければ表現は生まれない。映画「桐島、部活やめるってよ」を参考に<表現>を考える。前編	映画「桐島、部活やめるってよ」を見る（予復習各2時間）	
14 .	最後に、「表現とは身体である」を学ぶ。身体がなければ表現は生まれない。映画「桐島、部活やめるってよ」を参考に<表現>を考える。後編	映画「桐島、部活やめるってよ」を見る（予復習各2時間）	
15 .	まとめのレポートを書く。	今までの授業内容を振り返る（予復習各2時間）	
教科書	特には使わず、その都度授業内容のレジュメを配布する。		
参考書	ホイジンガ「ホモ・ルーデンス」、カイヨワ「遊びと人間」など。		
学修成果の 評価方法	受講態度（50%）、毎回の小レポート（20%）、最後のまとめレポート（30%）		
特記すべき 事項	特になし。		
質問・相談等 の 受 付	授業中でも放課後でも、可能な限り対応する。		

科 目	表現の世界	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	梁木靖弘	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	前期に続いて、表現とは何かを、文化芸術という洗練された専門領域ではなく、人間とは何かを視野に収めつつ、祭りから最先端のパフォーマンスまで具体的なテーマについて考察する。本授業は表現学科の学修成果（5）に対応する。		
到達目標	前期に続いて、さまざまなアプローチをしていくなかで、表現は身体であり、身体は表現である、ということ学ぶ。		
学修成果の 評価基準	毎時間出席することが求められるが、そのつど小レポートを提出してもらい、理解度をはかる。最後にまとめレポートを書いてもらい最終的な理解度を査定する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	<祭りは何のためにあるのか？> 「祭りの前」「祭りの最中」「祭りの後」を考える。	できれば映画「歌え！パパイヤ」を見る （予復習各2時間）	
2 .	<遊びとは何か？> 「遊びは、それ以外の思考形式とは無縁である」など、遊びについて考える。	できれば映画「ラヂオの時間」を見る （予復習各2時間）	
3 .	<変身する芸能 その1> われわれはなぜ変身したがるのか。	できれば映画「女神は二度微笑む」を見る （予復習各2時間）	
4 .	<変身する芸能 その2> 少女は魔女に、少年はヒーローに変身する。「やつし」と「もどき」について考える。	できれば映画「エレファント・マン」を見る （予復習各2時間）	
5 .	<二つの世界像 その1> ロココRococoについて。 遊戯・ファッション・おしゃべりの快楽はロココに通じる。	できれば映画「8人の女たち」を見る （予復習各2時間）	
6 .	<二つの世界像 その2> バロックBaroqueについて。 人生は夢、すべてこの世は舞台はバロックに通じる。	できれば映画「カイロの紫のバラ」を見る （予復習各2時間）	
7 .	<ロマンティック> われわれはふつうにロマンチックというが、ロマンとは何なのか？	できれば映画「シラノ・ド・ベルジュラック」を見る （予復習各2時間）	
8 .	<リアリズム> 写実主義あるいは現実主義というが、リアルとは何なのか？	できれば映画「スラムドッグ\$ミリオネア」を見る （予復習各2時間）	
9 .	<モダンあるいはモダニズム> モダンということばも普通に使うが、近代とは何であるのか？	できれば映画「モダン・タイムス」を見る （予復習各2時間）	
10 .	<ミュージカル> ミュージカルも暗黙の了解として普通に使うが、それは何を指すのか？	できれば映画「ウエストサイド物語」を見る （予復習各2時間）	
11 .	<ポップ> Popとは何か？ポップは世界を立体ではなく、平面として体現する。	できれば映画「ヘアスプレー」を見る （予復習各2時間）	
12 .	<パフォーマンス> パフォーマンスも様々なところで使われるが、それは何なのか？	できれば「ピナ・バウシュ」の舞台を見る （予復習各2時間）	
13 .	<スターとアイドル> スターとアイドルの違いはどこにあるのか？国民的スターはどうしていなくなったのか？	できれば映画「男はつらいよ」を見る （予復習各2時間）	
14 .	まとめ <表現とは身体＝原っぱである>	できれば映画「セブン・チャンス」を見る （予復習各2時間）	
15 .	レポートを書く。	今までの授業内容を振り返る （予復習各2時間）	
教科書	特にないが、毎時間レジュメを配布する。		
参考書	特にない。		
学修成果の 評価方法	受講態度（50%）、小レポート（20%）、期末のレポート（30%）		
特記すべき 事項	特になし。		
質問・相談等 の 受 付	授業中、放課後、いつでも対応する。		

科 目	文章表現学	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	基礎的文章力を身につけることに加え、文章表現の自由さについて考察する。 また思考力、判断力をもとに、多様な文書執筆を経て、社会にコミットする表現手段を獲得する。 本授業は表現学科の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	序論・本論・結論の構造を持った文章を書くことが出来る。 また、主体的に語彙を用い、自分ならではの文章を組み立てることが出来る。		
学修成果の 評価基準	単元に応じた課題についてレポートを提出する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	イントロダクション 文章ワーク「今日のひと言」「モーニングページ」	予習：大学の授業について（2時間） 復習：授業振り返り（2時間）	
2 .	接続詞が世界を紡ぐ 順接・逆接の組み合わせを考える	予習：ノートの取り方について（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
3 .	三段法の習得 日本語の罫を知る	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
4 .	名文に倣う 音読による効能を習得する	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
5 .	五感を利用し、表現する	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
6 .	要約のレッスン 割愛の精神を持つ	予習：要約文を作ってみる（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
7 .	推敲における修正の考察	予習：配布資料を読んでお（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
8 .	的を立て、思考のアプトブット力を磨く ～ 思い、共感、希望、警鐘 ～	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
9 .	形式1：エッセーを書く	復習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
10 .	形式2：メール文書を書く	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
11 .	形式3：会議に強い書類作成をおこなう	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
12 .	レポートの書き方を学ぶ1	予習：文章を書いておく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
13 .	レポートの書き方を学ぶ2	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
14 .	レポートの書き方を学ぶ3	予習：文章を書いておく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
15 .	文章づくりに関するまとめ	予習：配布資料を読んでおく（2時間） 復習：授業の振り返り（2時間）	
教科書			
参考書	西岡弼誠著『東大作文』、日経BP、『「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた。』		
学修成果の 評価方法	授業内課題（60％）、レポート（40％）		
特記すべき 事項	劇作家・ライターとして20年以上の実務経験を有している。		
質問・相談等 の受付	Classroom利用		

科 目	読書と豊かな人間性	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	豊かな人間性を育てる読書生活のために、発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る。また、「言葉」による表現で読書に親しむための実技を学ぶ。 本授業は表現学科の学修成果（3）に対応する。		
到達目標	発達段階に応じた読書の違いに振れ多様化する読書資料の活用ができるようになる。また、絵本の選定や読み聞かせの手法を学び、コミュニケーションを取りながら人前で読み聞かせ等ができるようになる。		
学修成果の 評価基準	到達目標にしている、発達段階に応じた読書資料の活用の達成度及び絵本の読み聞かせの実技、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	読書の意義と目的について	予習：なぜ読書をしなければならないのか（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
2 .	読書能力の発達について	予習：さまざまなりテラシーについて考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
3 .	読書興味の発達について	予習：発達段階によつての読書を考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
4 .	読書興味の発達段階について	予習：就学時までの読書について考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
5 .	読書興味の発達段階について	予習：小学低学年の読書を考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
6 .	読書興味の発達段階について	予習：小学校高学年の読書を考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
7 .	読書興味の発達段階について	予習：中高校生以上の読書を考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
8 .	読書の導入的な指導	予習：環境整備について考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
9 .	読書体験表現・交流について	予習：自分の読書体験について考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
10 .	公共図書館と学校図書館の連携	予習：公共図書館と学校図書館の連携を考える（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
11 .	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる（理論）（1）	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
12 .	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる（理論）（2）	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
13 .	絵本の読み聞かせを実演し、読み手と聞き手の関係性を学ぶ（実技）	予習：読み聞かせの練習（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
14 .	絵本の読み聞かせを実演し、絵本のめくり方、間の取り方、終わり方などを学ぶ（実技）	予習：読み聞かせの練習（2時間） 復習：授業を振り返る（2時間）	
15 .	授業総括	予習：今までの授業内容を振り返る（2時間） 復習：今までの授業を振り返る（2時間）	
教科書	『新版読書と豊かな人間性』朝比奈大作ほか（放送大学教育振興会）		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	受講態度（10％）、定期試験（60％）、授業内発表（30％） 到達度確認テストを実施後、フィールドバックします。		
特記すべき 事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	A I ・ データサイエンス入門	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	春田大河	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	AI (Artificial Intelligence : 人工知能) やDS (Data Science : データサイエンス)の基礎について学び、データやAIを適切に活用する初級レベルの能力を修得する。また、座学の講義を受けるだけでなく、Python (パイソン) のプログラミング演習 (データの可視化、データ解析、AIの機械学習など)を通して、データサイエンスやAIに関する理解を深めることを目指す。本授業は表現学科情報デザインコースの学修成果 (2) に対応する。		
到達目標	(1) データ駆動社会においてAI・数理・データサイエンスを学ぶ意義を理解する。 (2) データを収集・処理・蓄積する技術の概要を理解する。 (3) AI・DSは幅広い分野での社会課題を解決する有用なツールであることを理解する。 (4) PythonによるAI・DSプログラミングの基礎スキルを習得する。		
学修成果の 評価基準	期末試験、演習課題レポートの提出により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	座学講義 ・第 1 章 データサイエンスとは ・第 3 章 情報をめぐる世の中の潮流	予習：テキストの 1・3 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
2 .	AI・DSプログラミング演習 : データ・変数・演算	予習：ファイルをDL、説明文章を読んでおく (2 時間) 復習：課題プログラムを作る (2 時間)	
3 .	座学講義 ・第 4 章 広がるデータ活用の幅 ・第 6 章 情報倫理とセキュリティ	予習：テキストの 4・6 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
4 .	AI・DSプログラミング演習 : リスト・配列・関数	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
5 .	座学講義 ・第 7 章 データの種類とその応用 ・第 8 章 データリテラシー	予習：テキストの 7・8 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
6 .	AI・DSプログラミング演習 : 制御構造・アルゴリズム基礎 ・順次構造・選択構造・反復構造・合計・最大値を求める	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
7 .	座学講義 ・第 9 章 データの収集と視覚化 ・第 10 章 データの解析方法	予習：テキスト 9・10 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
8 .	AI・DSプログラミング演習 : データの可視化 データの可視化目的 (比較、構成、分布、変化) に応じた図表化 (折れ線、棒、散布図、円)	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
9 .	座学講義 ・第 2 章 AIにサポートされる社会 ・第 5 章 AI開発の歴史いま	予習：テキストの 2・5 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
10 .	AI・DS : データの可視化 要約統計量を出力：平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差 フィルタリング処理・ヒストグラム・散布図・箱ひげ図	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
11 .	座学講義 ・第 1 1 章 情報の利活用と方法 ・第 1 2 章 AIによる生活のアップデート	予習：テキスト 11・12 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
12 .	AI・DSプログラミング演習 : 教師あり学習 機械学習による犬と猫の画像分類	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
13 .	座学講義 ・第 1 3 章 AIによる社会のアップデート ・第 1 4 章 秩序あるデータの重要性	予習：テキスト 13・14 章を読む (2 時間) 復習：講義ノートを読み返す (2 時間)	
14 .	AI・DSプログラミング演習 : 教師なし学習 K-means法によるクラスタリング	予習：ファイルをDL、演習説明文を読んでおく (2 時間) 復習：課題PGMを作る (2 時間)	
15 .	座学講義 ・第 1 5 章 これからの学びにむけて (まとめ)	予習：テキスト 15 章を読む (2 時間) 復習：総復習 (2 時間)	
教科書	『大学基礎「データサイエンス」』、プログラミング演習の回は資料を配布する		
参考書	授業中に紹介する		
学修成果の 評価方法	期末試験 (40%)、課題レポートと演習課題プログラムの提出 (60%) を目安として評価する。		
特記すべき 事項	座学形式の授業とプログラミングの演習を交互に実施する。		
質問・相談等 の 受 付	質問は電子メールで送ってください。 mari@kurume-it.ac.jp		

科 目	I T 経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	P C ワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学修成果の 評価基準	・専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 ・自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の可否は成績評価には反映しません。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	オリエンテーション (ITパスポート試験の概要)	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
2 .	企業活動の基本	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
3 .	企業活動の基本	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
4 .	企業活動のルール・法務	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
5 .	企業活動のルール・法務	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
6 .	経営戦略	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
7 .	経営戦略	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
8 .	システム戦略	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
9 .	システム戦略	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
10 .	開発技術	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
11 .	開発技術	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
12 .	プロジェクトマネジメント	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
13 .	サービスマネジメント	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
14 .	システム監査	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
15 .	前半のまとめ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
教科書	知識ゼロからめざす ITパスポート 一発合格 令和7-8年度版 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき 事項	Tパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等 の受付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科 目	I T 経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	P C ワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学修成果の 評価基準	・専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 ・自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の可否は成績評価には反映しません。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	基礎理論	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
17 .	基礎理論	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
18 .	アルゴリズムとプログラミング	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
19 .	アルゴリズムとプログラミング	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
20 .	コンピュータシステム	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
21 .	コンピュータシステム	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
22 .	データベース	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
23 .	データベース	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
24 .	ネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
25 .	ネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
26 .	セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
27 .	セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
28 .	ITパスポート模擬試験	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
29 .	ITパスポート模擬試験	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
30 .	ITパスポート模擬試験	予習：模擬試験対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
教科書	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき 事項	ITパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等 の 受 付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科 目	基礎演習	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、専門科目
担当者	日下部 信・河本章宏	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1 年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 授業態度に加え、各達成度を測るために、 到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	読み合わせ	台本を読んでおく (予習30分・復習30分)	
2 .	読み合わせ	台本を分析する (予習30分・復習30分)	
3 .	読み合わせ	台詞を覚える (予習30分・復習30分)	
4 .	読み合わせ	台詞を覚える (予習30分・復習30分)	
5 .	立ち稽古	香盤表を確認する (予習30分・復習30分)	
6 .	立ち稽古	ミザンスを確認する (予習30分・復習30分)	
7 .	立ち稽古	ミザンスを確認する (予習30分・復習30分)	
8 .	立ち稽古	ミザンスを確認する (予習30分・復習30分)	
9 .	立ち稽古	ミザンスを確認する (予習30分・復習30分)	
10 .	立ち稽古	ミザンスを確認する (予習30分・復習30分)	
11 .	通し稽古	演出ノートを確認 (予習30分・復習30分)	
12 .	通し稽古	演出ノートを確認 (予習30分・復習30分)	
13 .	通し稽古	演出ノートを確認 (予習30分・復習30分)	
14 .	衣装合わせ	役の衣裳を考える (予習30分・復習30分)	
15 .	衣装合わせ	着こなしを考える (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学修成果の 評価方法	授業態度 (50%)、公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の 受 付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科 目	基礎演習	開講時期 履修方法	1年後集中 必修、専門科目
担当者	日下部 信・河本章宏	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学修成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学修成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 授業態度に加え、各達成度を測るために、 到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	照明合わせ	立ち位置の確認 (予習30分・復習30分)	
2 .	照明合わせ	照明に入る (予習30分・復習30分)	
3 .	照明合わせ	照明に入る (予習30分・復習30分)	
4 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第一段階) (予習30分・復習30分)	
5 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第二段階) (予習30分・復習30分)	
6 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第三段階) (予習30分・復習30分)	
7 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第四段階) (予習30分・復習30分)	
8 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第五段階) (予習30分・復習30分)	
9 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第六段階) (予習30分・復習30分)	
10 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第七段階) (予習30分・復習30分)	
11 .	上演	成果発表後ノートをつける (予習30分・復習30分)	
12 .	上演	ノートを元に修正する (予習30分・復習30分)	
13 .	上演	ノートを元に修正する (予習30分・復習30分)	
14 .	上演	ノートを元に修正する (予習30分・復習30分)	
15 .	まとめ	振り返り (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学修成果の 評価方法	授業態度(50%)、公演目標達成度(50%)		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の 受 付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		